

バスパネル

浴室天井・壁装材

バスパネル特性

岩盤浴などの低温サウナへの樹脂製バスパネルの使用は避けてください。

バスパネル特性

■物性試験結果一覧表(旧JIS K-6786に準ずる)

試験項目	熱変形 (mm)	断熱性 kcal/(m ² hr°C) (熱貫流率)	熱収縮性 (%)	曲げ強さ (kgf)	たわみ性 (mm)	重量 (kg/m ²)
規格値	2.5以下	3.5以下	0.2以下	10以上	20以下	-
バスパネル 不燃200	0.05	2.88	0.01	89.5	1.39	5.2
マルチスパン MSF	-0.58	2.41	-	29.7	1.63	1.7
バスパネル 準不燃200-I型R	-0.13	2.30	0.02	34.0	1.95	1.7
バスパネル 準不燃300-I型	0.51	1.61	0.04	39.1	1.54	1.6
バスパネル WJ	0.96	1.87	0.13	45.7	5.13	1.8
バスパネル MR	1.98	1.97	0.03	38.6	7.89	2.1
バスパネル BTJ	1.66	1.39	0.06	15.9	5.82	2.0
バスパネル EX	2.37	1.36	0.19	34.0	6.35	1.6
バスパネル U	0.74	1.39	0.04	49.7	5.65	2.0
バスミュール / サニタリーゾーンパネル	0.71	1.42	0.12	32.4	1.37	1.9

※データは測定値であり保証値ではありません。

■防火材料認定

不燃認定品	バスパネル不燃、マルチスパン、ウッドマルチスパン
準不燃認定品	バスパネル準不燃
難燃認定品	該当なし
認定なし	樹脂製バスパネル全般

■バスパネル耐用温度

耐用温度	100℃	バスパネル不燃
	80℃	マルチスパン、ウッドマルチスパン、バスパネル準不燃
	50℃	樹脂製バスパネル全般

⚠注意 バスパネル使用のご注意

バスパネル全般

●内装制限がある浴室には、バスパネル不燃もしくは準不燃をお使いください。

樹脂製バスパネル：物件・住宅共通

- 暖房用排気口からの温風が直接バスパネルに当たることを避けてください。
- 給湯配管・蒸気配管には必ず保護カバーを取り付け、30cm以上離してバスパネルを施工してください。
- 樹脂製バスパネルには60℃を超える熱湯をかけないでください。

樹脂製バスパネル：物件

- 室温が50℃以上となるサウナ風呂などには、樹脂製バスパネルを使用しないでください。
- トップライト等で直射日光が当たる壁面には樹脂製バスパネルを使用しないでください。
- 汚れが付いた時は、浴室用中性洗剤をスポンジまたは柔らかい布に含ませて拭き取り、水洗いしてください。
- 除菌剤・消毒剤・カビ取り剤等は、用法に従い、塗布後は速やかに水で洗い流してください。またその際には、天井面にも水を掛けて、十分に洗い流してください。洗浄成分が蓄積するとバスパネル表面が変色・変質するおそれがあります。

- 浴室内の湯気抜きのため、必ず電動換気扇を取り付けてください。
- 天井裏の湿気・熱気を排出するため、天井裏換気をとってください。
- 殺菌灯は使用しないでください。直接パネルに照射されると変色します。

アルミ製バスパネル：物件・住宅共通

●バスパネル不燃・準不燃・マルチスパン、バスミュール・サニタリーゾーンパネルについては、基材にアルミを使用している関係上、「強酸性(PH3以下)、強アルカリ性(PH10以上)、硫酸イオン濃度1,000mg/l以上の温泉等」では腐食のおそれがありますので、使用しないでください。

アルミ製バスパネル：物件

- 汚れが付いた時は、浴室用中性洗剤をスポンジまたは柔らかい布に含ませて拭き取り、水洗いしてください。
- 除菌剤・消毒剤・カビ取り剤等は、用法に従い、塗布後は速やかに水で洗い流してください。またその際には、天井面にも水を掛けて、十分に洗い流してください。洗浄成分が蓄積するとバスパネル表面が変色・変質するおそれがあります。
- 浴室内の湯気抜きのため、必ず電動換気扇を取り付けてください。
- 天井裏の湿気・熱気を排出するため、天井裏換気をとってください。
- 殺菌灯は使用しないでください。直接パネルに照射されると変色します。

施工後のメンテナンス：物件・住宅共通

- 汚れが付いた時は、浴室用中性洗剤をスポンジまたは柔らかい布に含ませて拭き取り、水洗いしてください。
- 有機溶剤(ベンジン、アルコール等)は使用しないでください。
- 研磨剤入りの洗剤、金属タワシ等は使用しないでください。
- 除菌剤・消毒剤・カビ取り剤等は、用法に従い、塗布後は速やかに水で洗い流してください。またその際には、天井面にも水を掛けて、十分に洗い流してください。洗浄成分が蓄積するとバスパネル表面が変色・変質するおそれがあります。

施工後のメンテナンス：物件

- 一番大切なのは、日頃のお手入れです。水洗い程度で結構ですので、汚れの予防をこまめに実施してください。日頃のお手入れを怠ると、カビが発生しやすくなったり、こびりついた汚れが落ちにくくなります。
- アルミ系バスパネルについては、塩素系消毒剤を使用すると塩素分の蓄積により腐食する場合がありますので、使用しないでください。

施工後のメンテナンス：住宅

- 一番大切なのは、日頃のお手入れです。入浴後は壁面を40℃程度のお湯で洗い流した後、冷水をかけて十分に換気してください。(カビの発生を抑制します)
- 毛染め液はパネルを汚染しますので、使用しないでください。

